

洪 恵子 先生

先生のプロフィール

【出身地】

東京都

【専攻】

国際法（国際公法）

【近年(2~3年)の担当科目】

国際法総論 A, B, International Law, ミドル演習、プログレッシブ（アドバンスト）演習など



Q1 先生の専門科目について教えてください。またその分野に進んだきっかけを教えてください。

私の専門は国際法（国際公法）と呼ばれる分野です。主権国家間の関係を規律する規範や国際社会全体のルールを対象とする学問です。上智大学の学生であったときに山本草二先生の国際法の授業に出てこの分野に魅了されました。ただ学生として関心があるということと、職業として研究者になるというのはかなり次元が違うことで、研究者になると決意するまでにはその後、何年もかかりました。

Q2 ゼミや授業以外ではどのようなことをされていますか？

大学での教育や運営の仕事のほか、国際法の専門家として、難民審査参与員といった出入国在留管理庁の委員や国際刑事法分野に関して外務省と意見交換などをしています。かつては国連・人種差別撤廃委員会の委員も務めました（2018-2021）。

Q3 昨年度（2025年）のゼミ活動で印象に残っている出来事を教えてください。

早稲田大学、中央大学、同志社大学の国際法の演習との合同合宿で国際模擬裁判を実施したことです。2025年度は通常の合宿に加えて、冬に早稲田で行われた英語の模擬裁判にもうちのゼミが参加しました。準備は大変だったと思いますが、ゼミ生の皆さんがこの経験を通じて大きく成長してくれたことを嬉しく思っています。

Q4 ゼミでは、教室内で勉強するだけでなく、合宿や模擬裁判なども行われています。これらの活動を通してゼミ生にどのような社会人になってほしいと考えていますか？

同じく国際法に関心がある同世代の人たちと出会うことによって、お互いの共通点や、また逆に違いにも気づくことになると思います。それが良い刺激となって自分のなかに新

しい可能性を発見してもらいたいと思っています。また社会人になったらどういうマナーで行動するべきかを考えるきっかけになってもらえると良いですね。

Q5 2026年の抱負を教えてください。

自分が指導する学生を含め、南山大学の学生の皆さんが充実した日々を送ってくれることを願っていますし、皆さんの成長を私が少しでも助けることができるような指導を心掛けていきたいと思っています。

最後に、国際法ゼミに興味を持っている学生に向けて一言お願いします。

国際法は国内法とは多くの点で異なっており、一般的に「関心がある」学生と「関心はあまりない」学生にはっきりわかるように感じています。したがって国際法のゼミには、これまでも基本的に国際法が好きな学生が集まってきましたし、来年度もそうであることを期待しています。

★プログレッシブ 洪 ゼミの実態！（2025年度ゼミ生 14名 4年7名,3年6名,留学生1名）

★洪先生のトリセツ

韓国ドラマがお好きなようで、授業中にしばしば話題にあがります。学生の疑問に親身になってくださり、メールでも、授業後の空いた時間などでも質問に丁寧に答えてくださいます。他大学の先生方とのつながりも厚く、大学間で交流する機会があるのもこのゼミの特徴です。

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

3年生：発表準備(テーマは自分で選択)

4年生：ゼミ論文の作成(テーマは自分で選択)

【長期休暇課題】

3年生：授業で自身が発表した国際法に関するテーマについてレポート作成 (Q2のみ)

4年生：ゼミ論文の作成(提出は1月末)

活動内容

担当者の報告 20-30分、質疑・議論 40-50分

【年間スケジュール】※2025年度

Q1→3年生個別発表

Q2→3年生：ゼミ合宿(模擬裁判)の準備 4年生：3年生のサポート、小論文の作成

Q3,Q4→3年生：個別発表、模擬裁判準備

4年生：ゼミ論文の作成

新1年生に何か一言！

就活のガクチカで差別化を図れるような体験もできます！国際法に少しでも興味があれば気軽に応募してください！